

スピードはひかえめに、シートベルトを正しくしめて安全運転。お子様にはチャイルドシートを。

**HONDA**  
The Power of Dreams

***LEGEND***

最高で最先端をゆく、移動の心豊かさを。

人間は本来、自由な存在。だから、人が行きたい時に、

行きたい場所へ、行きたいように行けること。

Hondaはその自由を大切に思い、夢見て、様々なものを創ってきました。

心豊かに移動する喜び。そこに向け、自分たちの手でどこまでの

クルマがつくれるか。志と技術を結集して限界を突き破り、

生み出す究極。このクルマは、どの時代もHondaの生き様の体現でした。

あらゆる状況でも安心と快適さで人をつつみ、思いのままに操れ、

長距離でも愉しさすら感じて走っていける。まさに自動車の本分であり、

理想とも言える性能を、持てるすべてをかけて突き詰めてきました。

最高かつ最先端をゆく、昂ぶりと充足の走りを。

今の到達点が、ここにあります。新しいレジェンド、登場。









# At Will

生まれたての光が、街並みのディテールや山の輪郭を浮き立たせる。

スイッチを押す。メーターが発光し、システムと自分が起動する。

思いのままに。遠くへ。限らない自由を秘めたクルマが

ここから見える世界の外へ、心を向かわせる。





アクセルをそっと踏み込めば、なめらかで太く  
静かな力が、瞬時にクルマを押し出す。  
石畳なのに、絨毯の上に行くような  
フィールを感じて通りへ出て、街を抜けていく。



エンジンと3つのモーターが一斉に力を奮う。

強いGを感じ、すぐに望む速さに達する。

合流すると一転して、穏やかなクルージング。

高速でも無駄な動きを現さない安定感。

それは、レーンに移る身ごなしでも変わらない。

ハイウェイを離れ、標高を上げると、  
道が多彩な表情を見せ始めた。  
思い描いたラインに綺麗にのる。  
コーナーがストレスではなく、愉しさになる。







クルマを止め、ドアを開くと入り込む自然の香気。  
身体にわずかに残っていた日常の断片が  
水に流される砂粒のように跡形もなく消えていく。  
ふたたびシートに身を預け、道とひとつに溶け合う。



降り出した雨。さらに先へ向かうと、それは  
雪に変わり、車窓からの眺めは白一色に彩られた。

天候が厳しさへ移ろう中でも、気持ちは  
平静へと導かれる、操縦の安定感。



Photo: P10~25の写真のボディカラーはプレミアムクリスタルレッド・メタリック  
インテリアカラーはシーコースト・アイボリー 小物類は撮影のために用意したものです。



長い距離を越えてきてもなお  
愉しさに前向きになれる身体と心のゆとり。  
ただ移動するだけでなく、道のりを過ごす時間を  
大切に思うことは、人生を大切にすること。



あらゆる状況で「意のまま」にできる。  
その究極をめざす、駆動系への渾身の挑戦。

環境が刻々様々に変化する中でも、人が思い通りに操れること。  
愉しさを安心感・快適さにつなげるその性能を、自動車は追い求めてきました。  
「人間の自由な移動」を志すHondaは、その性能を司るクルマの根本、  
駆動・操舵系の研究を重ね、独自の創意を注いできました。世界初となった、  
ステアリング操作で後輪も曲げる1987年の4WS<sup>※1</sup>。前輪左右の駆動力を  
変える1996年のATTS<sup>※2</sup>。そして、四輪の駆動力を自在に制御する  
世界初の革新技术「SH-AWD」<sup>※3</sup>を2004年、レジェンドに搭載。それから  
約10年。SH-AWDで叶えた駆動力配分の自在さを、モーターの活用によって  
劇的に進化させ、高い環境性能も満たす世界初<sup>※4</sup>の3モーターハイブリッド、  
「SPORT HYBRID SH-AWD」を2014年のレジェンドで実現。さらに、この技術を  
一層熟成し、レジェンドのドライバーズカーとしての価値をより高めました。

**SPORT HYBRID SH-AWD**  
Super Handling All-Wheel Drive

※1：舵角応動型4輪操舵システム。プレリウドに搭載 ※2：ATTS=アクティブ・トルク・トランスファー・システム。プレリウドに搭載  
※3：スーパーハンドリング・オール・ホイール・ドライブ ※4：2つのモーターで左右後輪の駆動力を独立制御可能な3モーターハイブリッド  
システムとして ■「世界初」はすべてHonda調べ Photo：ボディカラーはマジェスティックブラック・パール テストコースでの撮影



四輪の駆動力を高度に自在配分。NSXにも受け継がれた、画期的な3モーターハイブリッド。

先代レジェンド(2004年~2012年)のSH-AWDは、エンジンの駆動力を後輪にも振り分け、後輪に送った駆動力をさらに左右に振り分ける技術。配分には、前後輪間で70:30~30:70、後輪左右間で100:0~0:100という比率の範囲がありました。それに対し、「SPORT HYBRID SH-AWD」は、リアに2つのモーターを配し、エンジンの作動とは関わりなく左右の後輪を別々に駆動することを可能にした革新技術です。複雑・高度な制御を必要とし、開発当初は「これは形にならない」、そう思われた技術。幾多の難題を超えて完成させ、レジェンドに搭載。続いて、スーパースポーツNSXのコア技術としても採用されています。



**SPORT HYBRID SH-AWD**  
Super Handling All-Wheel Drive



駆動力配分イメージ

一瞬一瞬、次元の高い操る喜びと安心を感じる。  
知能的な駆動力制御が生む、確かな安定感。

大きな自由度を持って、四輪の力を自在に制御。

左右の後輪それぞれにつながった2つのモーターを、エンジンとは独立して駆動させる。この技術は、自動車の走りの可能性を大きく広げました。走行状況・路面状況に応じて、四輪駆動/前輪駆動/後輪駆動などの駆動方式をシームレスに切り替え、各輪から発生する駆動力の大小も、自在に、瞬時に制御。高速走行時や荒れた路面、滑りやすい路面、左右で条件の異なる路面や急な路面変化などでも、安心と快適さが感じられる高い走行安定性を発揮します。

レジェンドが北海道でご支持の厚い\*理由。

SPORT HYBRID SH-AWDを載せて、2014年に登場したレジェンド。ひとつの特徴に挙げられるのは北海道でのご支持が厚い\*ことです。主な理由は、雪上での高い走行安定感と、それがもたらす運転の安心感。グローバルでの展開も見据え、レジェンドは開発において雪上での実地検証を幾度となく重ねました。発進加速性能や走破性のほか、急勾配の圧雪路・凍結路での発進のスムーズさ・登坂性能も追求。過酷な状況に対する走りの信頼性を磨き抜きました。



駆動力制御イメージ図



SPORT HYBRID SH-AWD構造イメージ

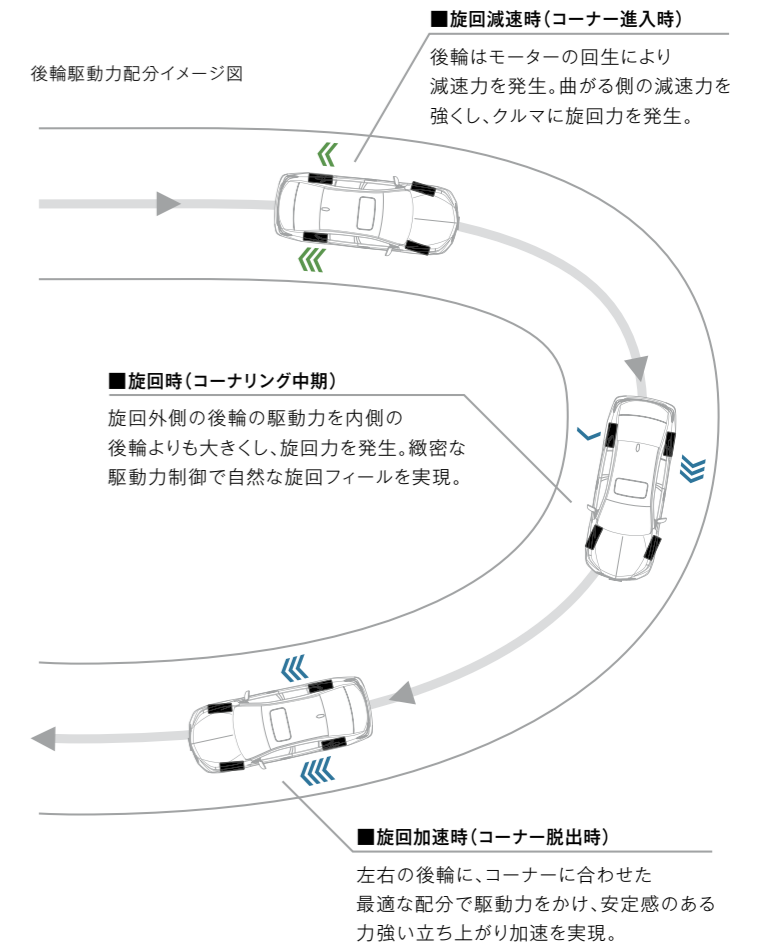
思い通りのラインを描いて曲がれる。  
その安心・自信・痛快さを、最高レベルで叶えたい。

「力で曲げる」独創による、SH=スーパーハンドリング。

四輪への自在な駆動力配分。それが本領を発揮するのが旋回時です。自動車は誕生以来、「ステアリングで前輪を曲げて、向きを変える」、この方法しか曲がる術を持っていませんでした。Hondaはその歴史を変えました。それが、「力で曲げる」発想です。たとえば手漕ぎの舟。左舷のオールを強くかければ舟は右へ曲がります。この原理で、曲がろうとする方向の外側の後輪に力を多くかけ、クルマ自身に旋回力を起こさせる。いわば「第2の曲がる力」の活用です。

制御を熟成し、より感動的なハンドリングと加速を実現。

第2の曲がる力。SPORT HYBRID SH-AWDは、これをリア2モーターで発生。巧みな制御で、思い描いた進路に極めて忠実に、より高い安定感と一体感を持って曲がれる感動的なオン・ザ・レール感覚を叶えました。エンジンの駆動力に依存しないため、交差点など低速時の取り回しにも寄与します。さらに、「クルマを曲げながら、より強く押し出す」制御へと進化。ワインディング走行や追い越し加速時などの瞬発性、操舵のレスポンスとナチュラルさを一段と高めました。



足裏をアクセルに軽く押し付けた瞬間から、加速感が心を魅了する。  
3.5Lエンジン+3モーターが放つ、圧倒的なダイナミック性能。



足の「母指球」での繊細なアクセル操作にも応える加速を。

高出力V6 3.5L直噴i-VTECエンジンに3基の高出力モーターを加えた強力なパワーユニット。回転した瞬間から高いトルクを生むモーターの特性が走りに瞬発力を与え、発進・加速・追い越し時などで、エンジンだけが動力源のクルマでは望めない速い反応と力強さを叶えました。動力の伝達効率が高い7速DCT(デュアルクラッチトランスミッション)も加速力の向上に寄与。また、DBW(電子制御スロットル)の設定でもアクセル操作と車両の加速がシンクロする一体感を追求しています。

スイッチひとつで、さらに心昂ぶる走りが愉しめる。

モーターも併用するハイブリッド車の特性を、運転の一層の愉しさに活かす「SPORTモード」。「SPORT」スイッチを押せば、レスポンスを優先する走りに瞬時に移行。モーターアシストを積極的に行い、変速制御も高回転域を積極的に使う制御に切り替え、より強力な加速を生みます。同時に駆動力配分の制御も変え、旋回の俊敏さを強調。ステアリング操作、ブレーキフィールのダイレクト感も強めます。またマニュアル感覚のシフトチェンジが愉しめるパドルシフトも備えました。

システム最高出力※ **281 kW [ 382 PS ]** システム最大トルク※ **463 N・m [ 47.2 kgf・m ]**

※エンジンとモーターによりシステムとして発揮できる出力・トルク。(Honda 測定値)



直噴技術や知能的なバルブ制御により、全域で高出力を生む3.5L i-VTECエンジン。



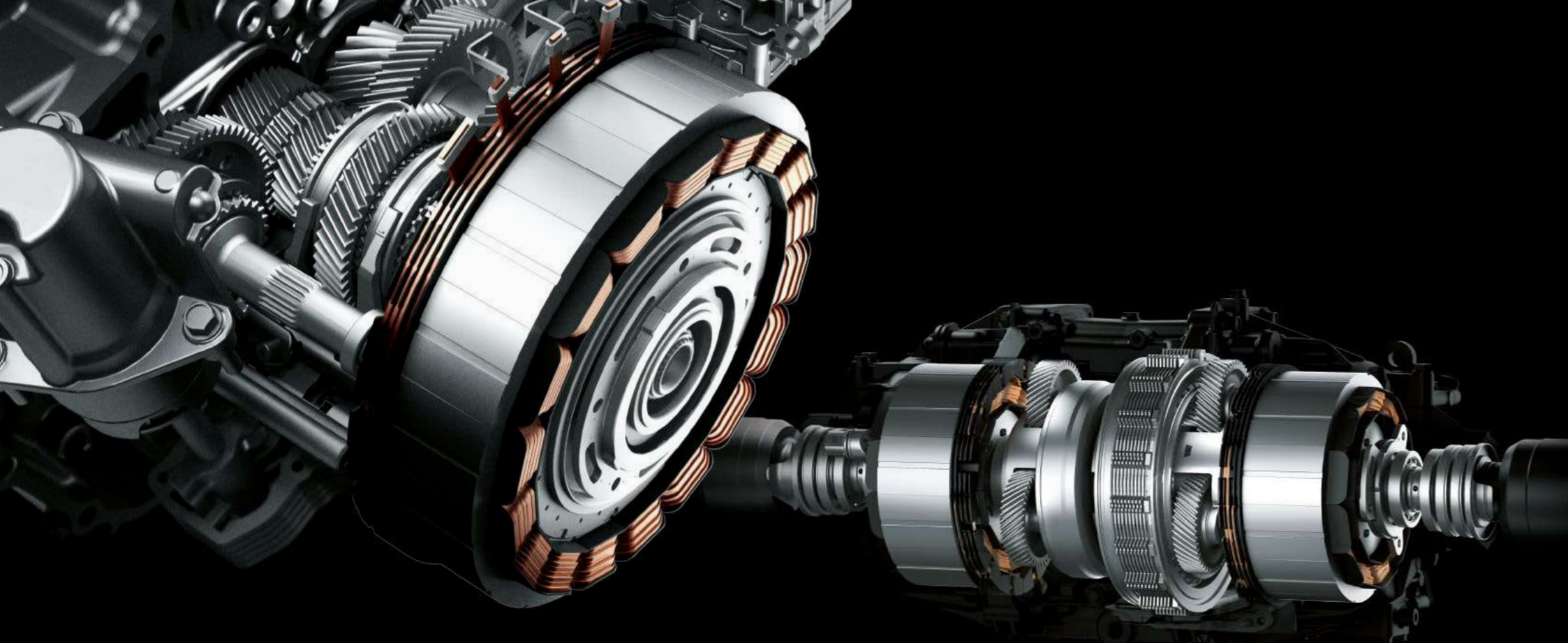
足の母指球で感じるアクセルの操作感と、加速Gの立ち上がりの一体感を追求。



運転中すぐ手の届くセンターコンソールに設置したSPORTモードスイッチ。



ステアリングの十と一のレバーにより、指先でシフトチェンジが愉しめるパドルシフト。



圧倒的な走りのパフォーマンスを  
いかに高いエネルギー効率で実現するか。

「子供たちに青空を」。1960年代から志してきたもの。

走りの喜びだけでなく、美しい地球環境を次の世代に渡したい。その想いを胸にHondaは早くから、パワーと環境性能の高度両立を連綿と追求。レジェンドの画期的なハイブリッドシステムは、その極みに挑んだ技術です。減速時、3つのモーターすべてを発電機として活用し、高効率に回生。走行時には、リアモーターだけで走る「EVドライブ」、エンジンの力も合わせる「ハイブリッドドライブ」、エンジンの得意領域ではエンジンだけで走る「エンジンドライブ」、この3つのモードを筆頭に、一瞬一瞬、最適な駆動力配分と同時に、最も高効率なエネルギー制御を実行。操縦安定性に寄与しつつ優れた燃費性能を生みます。

全身を貫く、エネルギー効率に向けた合理性。

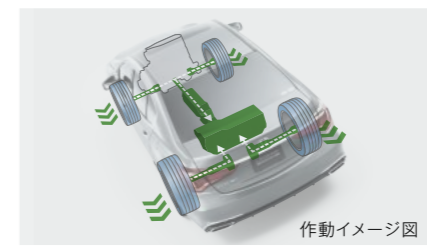
エンジンに3つのモーターとバッテリーを加えながらも、プロペラシャフトなどの駆動装置を不要とし、先代のガソリン車に比べてごく僅かな重量増で3モーターハイブリッドを実現。V6 3.5Lエンジンは高い熱効率が得られる直噴方式とし、しかも、知能的なバルブ制御により、効率を一層高める「VTEC」を採用。さらに、クルーズ走行時など低負荷時には片側バンク3気筒を休止し、燃料消費を抑える「VCM」も採用しました。変速機は、MTのような高い動力伝達効率により、ダイレクト感とともに低燃費にも寄与する7速DCTとしています。車体もハイテン材、アルミ材を随所に使い、軽量化を徹底。空力性能も磨き上げました。

VTEC=可変バルブタイミング・リフト機構 VCM=可変シリンダーシステム

JC08モード

走行燃料消費率  
(国土交通省審査値) **16.4 km/L**

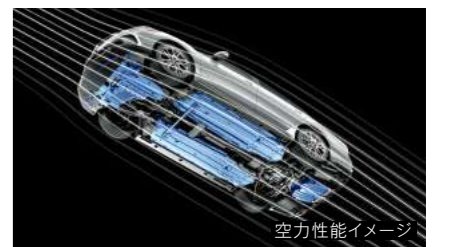
燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。



減速時、全輪の減速エネルギーを回生。四輪駆動の際は、バッテリーの電力を使わず、フロントモーターで発電した電力でリアモーターを駆動する制御も可能。



ハイテン材、アルミ材を随所に使い、軽量化。鉄とアルミを接合する特殊技術を使ったドアパネルなどアルミ材の多用は、鉄製比約35kg\*に貢献。



風洞実験を徹底的に重ね、優れた空力性能を実現。ボディの形状の最適化に加え、ボディ下面のフラット化も徹底。

\*Honda測定値

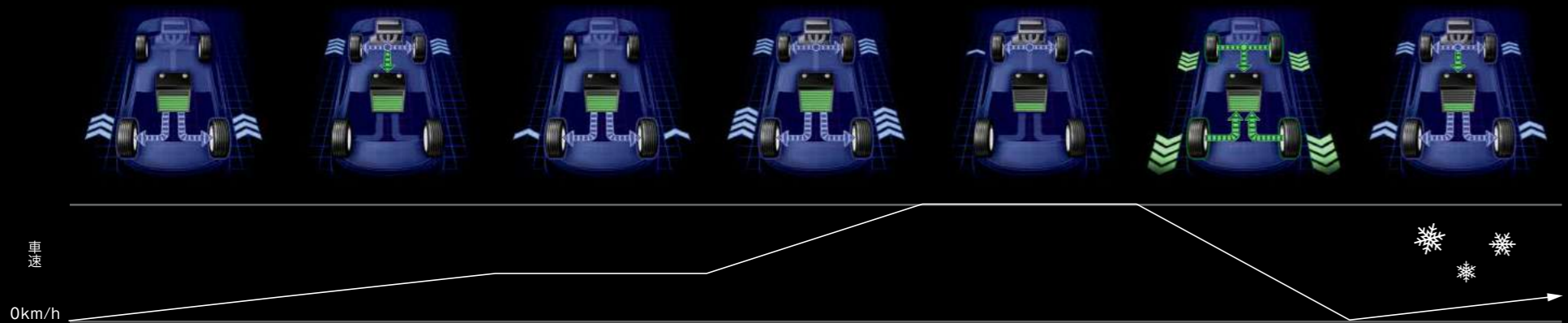
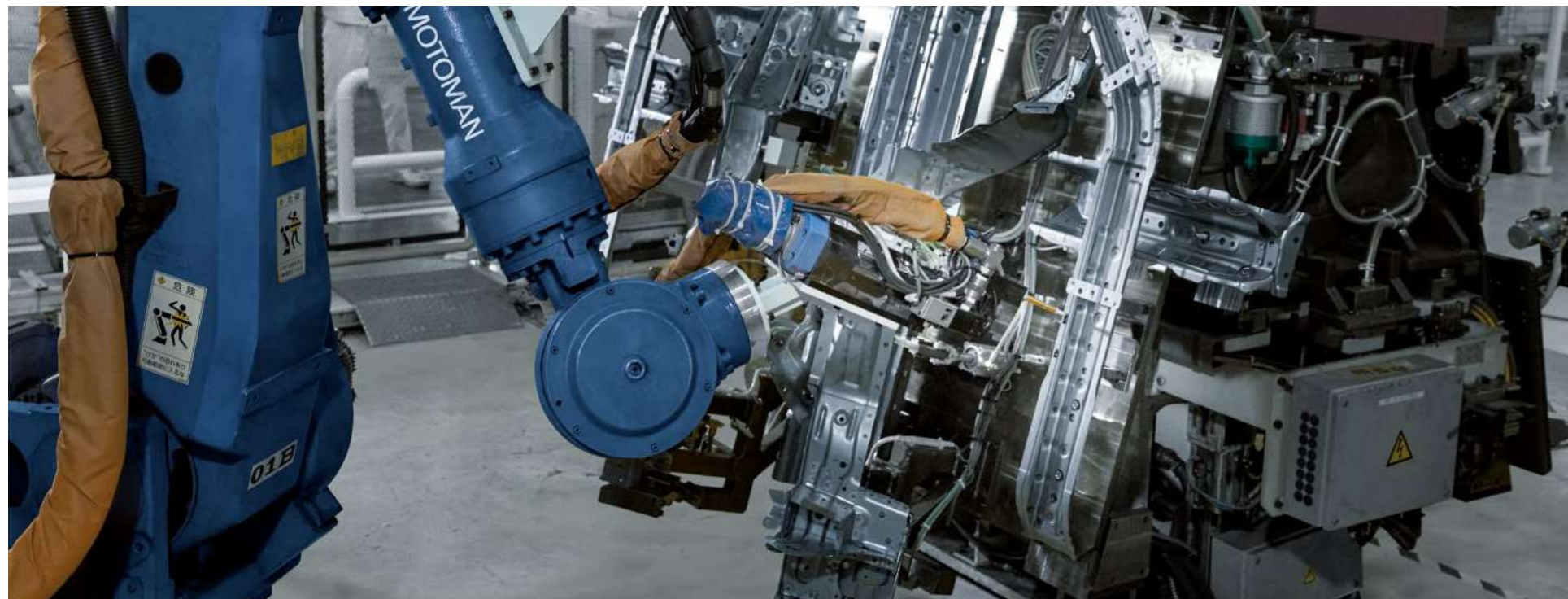


Photo: [左上]フロントモーター構造イメージ [右上]リア2モーター構造イメージ [下]車速とシステムオペレーションの相関イメージ



骨格の剛性感を高めるべく、レジェンドが生産される埼玉製作所に、意図した部位に正確に接着剤を塗布する専用設備を導入した特別な工程を追加。人の技も注ぎ込み、進化した骨格が作り上げられます。

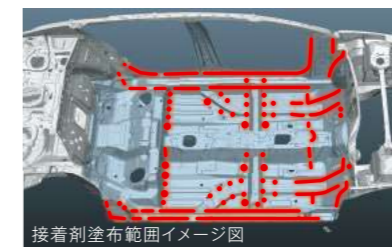
骨格からより高みへ。クルマの根幹から手を入れる、進化への執念が叶えた、走りと乗り味の向上。



骨格構造イメージ

接着部位を広げ、「母なるボディー」に一層の剛性感を。

アルミ材などの多用で軽量化しつつ、様々な状況で動じない堅牢さと、サスペンションに狙い通りの性能を発揮させる高い支持剛性を求めた骨格。より理想をめざし、溶接と併せて骨格の結合に用いる接着剤の塗布範囲を、フロアなど客室を支える骨格幹部を中心に拡大しました。路面からの入力を骨格全体で瞬時に受け止めて剛性感を高めることでタイヤが転がった瞬間から実感できる、重厚で落ち着いた乗り味とステアリング操作に伴うクルマとのさらに強い一体感を実現しました。



接着剤塗布範囲イメージ図

#### 接着剤による骨格結合の範囲拡大

様々な解析や走り込みによる体感を通して、剛性感の向上を効率よく図れる部位を割り出し、接着剤の塗布範囲を拡大。



#### 人の技も交えたものづくり

専用設備によって接着剤を塗布したうえで溶接の工程へ。さらに、一台一台、人の目や手を介した丹念な検査を経て仕立てられます。

思い通りの走りと上質な乗り味をめざした、脚の進化。

ドライバーの操作に忠実に応え、かつ、外乱には揺るがない安定性を発揮する懐の深さを目標に、直進安定性、操縦安定性、操舵応答性、乗り心地を追求したサスペンション。状況に応じて減衰力を変化させ、操縦安定性と乗り心地を磨く振幅感应型ダンパーも採用。さらに、よりストロークするチューニングを施し、特性を一段と高めました。剛性感を高めた骨格と相まって、路面の起伏を関節が巧みにいなすように作用。路面に絨毯を一枚敷いたような、より高品位な乗り味を実現しました。



#### 振幅感应型ダンパー

動きが大きい時は強い減衰力で車両姿勢の安定化を図り、動きの小さい時は弱い減衰力で振動を吸収。操縦安定性と乗り心地に寄与。

## 先進の安全運転支援システム

Honda SENSINGがもたらす、  
より高い安心と快適。

前をゆくクルマを検知し、緊急時には自動でブレーキを働かせる。

その技術を世界で初めて実用化\*したのはHondaでした。

人の自由な移動の喜びに欠かせない「事故に遭わない社会」。

その達成に向け、Hondaは早くから独自に研究。技術開発で

注力したのは「人が介入する余地を最大限残すこと」でした。

警報の機能を充実させ、制御のあり方も、運転する人の意思を

尊重する形で設計。先進安全技術の分野でも、Hondaの発想は

「人が中心」です。道を使うすべての人が安心・快適であるように。

その想いを込めたHonda SENSING。

「トラフィックジャムアシスト(渋滞運転支援機能)」を加え、より進化しました。

Honda  
**SENSING**

\*2003年6月 追突軽減ブレーキ(CMS) インスパイアに搭載。Honda調べ  
Photo:トラフィックジャムアシスト(渋滞運転支援機能) 作動イメージ メーター類は撮影のため点灯 画面はハメコミ合成



# レーダー × カメラによる高精度・多機能な 先進の安全運転支援システム。

遠くまで対象の位置・速度の測定に強く、雨や霧にも強いミリ波レーダーと、  
対象の形や大きさの識別に強い単眼カメラ。2つを融合した高精度な検知能力と  
様々な制御技術が生む充実の機能で、安心・快適な運転を幅広く支援します。



レジェンドはサボカー S(ワイド)に該当しています。  
詳しくは、WEBサイトへ

セーフティー・サポートカー(略称:サボカー)は、  
政府が交通事故防止対策の一環として普及  
啓発しているものです。自動ブレーキなどの  
安全運転を支援する装置などを搭載し、ドライ  
バーの安全運転を支援します。詳細については  
WEBサイトをご確認ください。

## 新機能。高速道路などでの渋滞時、アクセル、ブレーキ、ステアリング操作を支援。



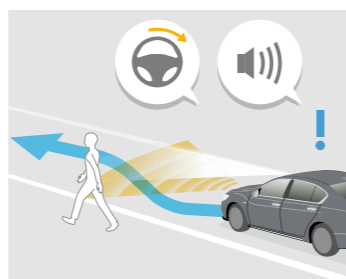
トラフィックジャムアシスト(渋滞運転支援機能)  
0km/h～約65km/hの速度域でも、前走車との車間を保ちながら自車の走行車線をキープするよう、  
アクセル、ブレーキ、ステアリング操作をアシスト。高速道路などでの渋滞時、ドライバーの運転負荷を軽減します。



衝突軽減ブレーキ  
(CMBS)  
車両や歩行者を検知し、衝突  
の危険がある場合に音と表示  
で警告。緊急時には、自動で  
強いブレーキをかけ、衝突回避・  
被害軽減を図ります。  
CMBS=Collision Mitigation  
Brake System



誤発進抑制機能  
前方に障害物があるにも関わ  
らずアクセルペダルを踏み込  
んだ際、パワーシステム出力を  
抑制して急発進を防止すると  
ともに、音と表示で警告します。



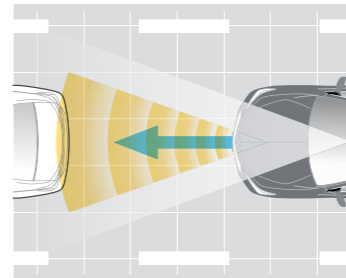
歩行者事故低減ステアリング  
約10km/h～約40km/hで  
走行中に車線を外れ、路側  
帯の歩行者と衝突しそうな  
際、音と表示で警告。ステア  
リングも制御し、回避操作を  
支援します。



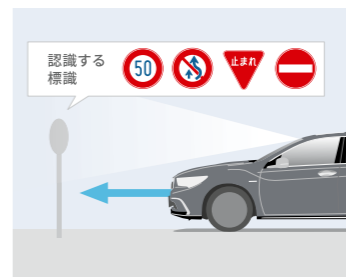
路外逸脱抑制機能  
車線を外れそうな際、音と表示、  
ステアリング振動で警告し、  
さらにクルマを車線内へ戻す  
ようにステアリングを制御。  
逸脱量が大きいと予測される  
際はブレーキも併用し、逸脱  
しないように支援します。



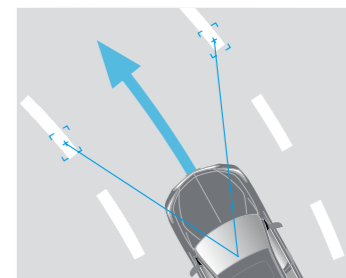
先行車発進お知らせ機能  
前のクルマが発進したことを、  
音と表示でお知らせします。



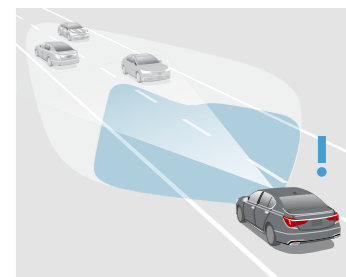
渋滞追従機能付ACC  
(アダプティブ・クルーズ・コントロール)  
前走車がない場合は設定し  
た車速を自動で維持し、前走  
車がある場合は自動で加減  
速をし、適切な車間距離を保  
つよう支援。前走車が停車す  
れば合わせて停車する渋滞  
追従機能付。



標識認識機能  
走行中に道路標識を認識して  
ヘッドアップディスプレイと  
マルチインフォメーション・  
ディスプレイに表示し、安全  
運転を支援します。



LKAS  
(車線維持支援システム)  
高速道路など、中・高速走行時、  
単眼カメラで車線を捉え、車  
線の中央に沿って走れるよう  
ステアリング操作をアシスト。  
車線を外れそうな際には、表  
示とステアリング振動で注意  
を喚起します。  
LKAS=Lane Keep Assist System



オートハイビーム  
前走車や対向車を検知して  
ハイ/ロービームを自動で切り  
替え。良好な視界の確保  
に貢献するとともに、切り替  
え操作の頻度も低減します。

■各機能の能力(認識能力・制御能力)には限界があります。各機能の能力を過信せず、つねに周囲の状況に気をつけ、安全運転をお願いします。車両をご使用になる前に必ず取扱説明書をお読みください。各システムは、いずれも道路状況、天候状況、車両状態等によっては、作動しない場合や十分に性能を発揮できない場合があります。■トラフィックジャムアシスト(渋滞運転支援機能)は、0km/h～約65km/hで作動します。前方車両に接近しすぎる場合には、ブレーキペダルを踏むなどして適切な車間距離を保ってください。急なカーブや加速・減速の繰り返しが少ない、高速道路や自動車専用道路などを運転するときに使用してください。また、運転者のステアリング操作に代わるものではありません。運転者がステアリングから手を放した状態や、運転者が意図的に車線を越えるようなステアリング操作をしているとシステムが判断した場合、ウインカーを作動させている場合、前走車がない場合は作動しません。■衝突軽減ブレーキ(CMBS)は、約5km/h以上で走行中に自車との速度差が約5km/h以上ある前走車両や歩行者、または対向車両(二輪車や自転車等を除く)に対して衝突する可能性があるときシステムが判断した場合に作動し、自動的に停止または減速することにより衝突回避や衝突被害の軽減を図ります。対向車両(二輪車や自転車等を除く)と歩行者に対しては、自車が約80km/h以下で走行中の場合に作動します。■誤発進抑制機能は、停車時や約10km/h以下で走行しているとき、自車のほぼ真正面の近距離に車両などの障害物があるにもかかわらず、アクセルペダルを踏み込んだ場合に、エンジンやモーターなどのパワーシステム出力を抑制し、急な発進を防止するとともに、音と表示で接近を知らせます。■歩行者事故低減ステアリングは、約10km/h～約40km/hで走行中に、システムが歩行者側への車線逸脱と歩行者との衝突を予測した場合に、ステアリング操作による回避を支援します。運転者のステアリング操作に代わるものではありません。運転者が加速やブレーキ操作、急なステアリング操作を行っているときシステムが判断した場合、ウインカーを作動させている場合は作動しません。■路外逸脱抑制機能は約60km/h～約100km/hで走行中に、路外への逸脱またはシステムが路外への逸脱を予測したとき、作動します。運転者のステアリング操作に代わるものではありません。運転者が加速やブレーキ操作、急なステアリング操作を行っているときシステムが判断した場合、ウインカーを作動させている場合は作動しません。■渋滞追従機能付ACCは、0km/h以上で作動します。前方車両に接近しすぎる場合には、ブレーキペダルを踏むなどして適切な車間距離を保ってください。急なカーブや加速・減速の繰り返しが少ない、高速道路や自動車専用道路などを運転するときに使用してください。■LKAS(車線維持支援システム)は、約65km/h以上で作動します。運転者のステアリング操作に代わるものではありません。運転者がステアリングから手を放した状態や、運転者が意図的に車線を越えるようなステアリング操作をしているとシステムが判断した場合、ウインカーを作動させている場合は作動しません。急なカーブや加速・減速の繰り返しが少ない、高速道路や自動車専用道路などを運転するときに使用してください。■先行車発進お知らせ機能は、先行車との車間距離が約10m以内で、先行車の発進を検知しても自車が停止し続けたときに作動します。■標識認識機能は最高速度、はみ出し通行禁止、一時停止、車両進入禁止の標識を認識し、ヘッドアップディスプレイとマルチインフォメーション・ディスプレイに表示します。一時停止、車両進入禁止は約60km/h以下で作動します。自車の単眼カメラから見て、車両等の陰になった道路標識は認識することができません。■オートハイビームは、約30km/h以上で走行中に作動します。ハイビームとロービームの自動切り替え制御には状況により限界があります。つねに周囲の状況を確認し、必要に応じて手動で切り替え操作を行ってください。■イラストは機能説明のためのイメージです。



Photo: ボディーカラーはオブシダンブルー・パール インテリアカラーはシーコースト・アイボリー メーター類は撮影のため点灯 画面はハメコミ合成

先進のフォルム。内側には「快の手法」と、走る喜び・優雅さを融合した空間。

広い室内を持ちつつ、風の流れて削られたような流麗さ・躍動感。先進的で凛とした存在感を放つ造形と、大胆なサイドラインなどで実現した先進セダンフォルム。室内には、人間の感覚と心理の両面から理想の「感」を探るという、歴代のレジェンドが重ねてきた研究成果に基づく快適さをもたらす手法を取り入れながら、走る喜びと優雅さが融合したデザインを込めました。両脇へ伸びる弧と上面の緩やかな傾斜が開放感を生むインストルメントパネル。スポーティープレミアムシートと呼ぶ前席は、高く、多面体の背もたれで上半身を一体感を持って受け止め、多層構造のクッションで適度な沈み込みを実現。さらに、サイドサポートについて、背もたれは高さ、クッションは硬度を最適化し、運転の安心感と疲労軽減に寄与するホールド性の良さを叶えました。またスイッチ式のギアセレクターなど、先進セダンとしての洗練感も追求しました。





Photo: インテリアカラーはディープブラウン。メーター類は撮影のため点灯。画面はハメロミ合成。



Photo:インテリアカラーはディープブラウン

触れる。見る。感じる。スムーズな運転を支援する、直感的で先進的なインターフェイス。

シフト操作が、指先の小さな動きで。

先進をゆくセダンに相応しい新しい操作感覚と、スマートで洗練された上質空間を追求して生まれたエレクトリックギアセレクター。シフト操作がスイッチにより、指一本で可能に。P・N・Dは押す、Rは引くという、人間の感覚に沿った操作。さらにDは、車両の進行方向に向けて斜め前へ押し込む動作とし、直感的な操作感覚を演出。また、前進するDは丸型、他は角型。さらに車両が動くD・Rは緑、他は赤のランプが点灯するなど視覚的な判別性も追求しています。



スイッチの判別性を高める、緑と赤のランプも採用したエレクトリックギアセレクター。

運転中の視線の線上に、情報を映す。

運転に集中しやすい情報表示を追求して生まれたヘッドアップディスプレイ。フロントウインドウに情報を投影しつつ遠方に結像させ、少ない視線・焦点移動で読み取れるよう設計。特殊な中間層を挟んだ専用ガラスを採用し、鮮やかなカラー表示を実現しました。速度のほか、単眼カメラで捉えた道路標識や駆動力の配分状況、ナビ使用時には曲がる交差点の手前で進路を表示。また危険な状況が迫った場合は警告を割り込み表示し、注意を喚起します。



ステアリングスイッチの切り替えで、様々な情報をフロントウインドウに映せるヘッドアップディスプレイ。



ヘッドアップディスプレイは、交差点で進路を示すTurn by Turn表示、標識認識機能の表示も可能。

人に「語りかける」アクセルペダル。

運転中頻りに踏んでいるアクセルペダルの触感を通して人に情報を伝えるリアクティブフォースペダル。加速時は踏み込むほどに重くし、加速とシンクロする一体感のあるペダルフィールを演出。クルーズ時は踏み過ぎの領域で重くし、エコ運転をサポート。雪上ではクルマが滑り出すアクセル開度を学習・予測し、その手前で重くして踏み過ぎを抑え、坂道発進時などで安心感ある操作を支援。さらに、危険時<sup>\*</sup>には振動で警告し、回避操作を促します。



踏み応えの重さの変化や振動で様々な情報をドライバーに伝えるリアクティブフォースペダル。

<sup>\*</sup>衝突軽減ブレーキ(CMBS)、誤発進抑制機能、後退出庫サポート作動時。



Photo:インテリアカラーはシーコースト・アイボリー

足の先まで感じるゆとり。洗練された  
感覚とあわせ、大切な方にも心満ちる時間を。

圧倒的な広さでゲストをおもてなしする後席空間。

後席は、ここにお迎えする大切な方にも「心豊かな移動」を感じていただけるホスピタリティを求めました。「メカのスペースは最小に、人のための空間は最大に」という、Hondaのクルマづくりに貫かれる考え方「M・M※思想」に基づくパッケージ技術を駆使し、大柄な方でもくつろげ、ロングドライブも快適な室内空間を実現。特に膝前は、足を組んでも余裕のある広さを実現。前席の下に足先が楽に入るスペースも確保しています。さらに、ドライバーや後席の方が助手席を電動で前に動かし、後席の足元を上げられる機能も装備しています。

※マン・マキシマム/メカ・ミニマム



膝前空間を大きく広げるとともに  
頭や肩まわりもゆとりを持たせた後席。



前席の下に足先が楽に入る設計も施し、  
ゆとりある居住性を実現。



くつろぎを深める幅の広いリアアームレスト。上面には、お好みの音楽のセレクトや  
後席の温度調節などが行える、大型カラーディスプレイ付のコントロールパネルを装備。



画面はハメコミ合成

心地よい包まれ感。オーディオの操作もくつろいだ姿勢で。

立体的な造形で程よいパーソナル感と洗練されたデザインを実現したリアシート。リアアームレストは肘を深くかけてくつろげる大型サイズとし、前端には引き出し式のドリンクホルダーを、上面にはコントロールパネルを装備しました。オーディオや空調、リアウインドウの電動サンシェードを、ゆったり肘をかけたまま指先で操作でき、また、曲名、ラジオ局名などのオーディオ情報やエアコン設定温度などを見やすく表示する大型のカラーディスプレイも装備。アームレスト内のUSBジャックでスマートフォンの充電も行えます。



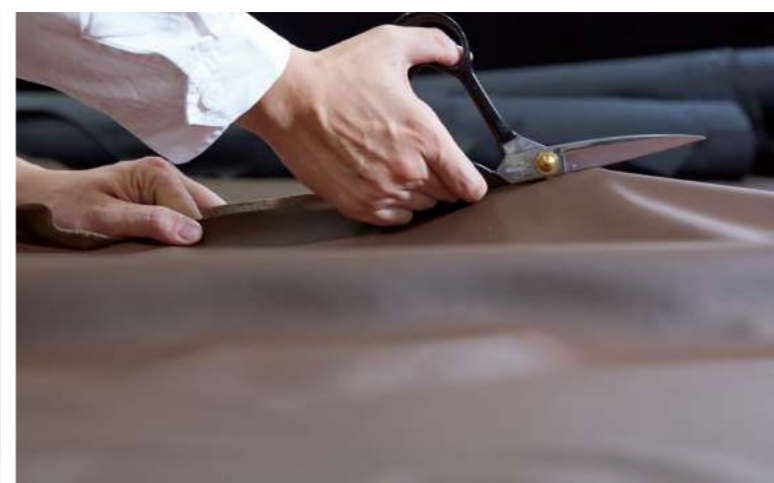
視覚だけではなく、触れて心に響く  
上質な感覚をつくり込む。

潤いを感じるような、しっとりとした手触り。  
空間に上質と洗練を香らせるレザーインテリア※。

空間に身を置いた瞬間、理屈を超えて上質感が身体に染み入り、喜びとくつろぎが広がる。そうした室内をめざして仕立てたレザーインテリア※。厳選された原皮を採用し、なめしと塗装工程により、本革のしっとりとした風合いと触感を強調。人が触れる部位に適用しました。カラーはブラック、グレー、アイボリー、ディープブラウンの4色。上質感のみならず先進セダンとしてのモダンさにもこだわって吟味を重ね、色調をチューニングしました。

三次元的に成形した柔らかなパッドに、  
一点一点手作業によるミシン縫いでステッチを。

インストルメントパネルからドアライニングにかけて、本革の風合いを質高く表現したソフトパッドを貼り込みました。立体成形後、人の手によりミシンで縫製加工。プレミアムな革製品に用いられる、堅牢で斜めの模様が美しいステッチを施し、手の込んだ仕立てを演出しました。また、金属の重厚な質感を表現した塗装仕上げや、内装色に応じて色調・柄を吟味した質感の高い木目調パネルも採用。ゆとりの空間を洗練された調和で満たしました。



なめらかで上質な肌触りのレザーシート。  
専用のミシンで緻密なダブルステッチ加工を。



人の手によるミシンステッチを施し、丁寧に  
つくり込まれた趣を内装にもたらすソフトパッド。



インストルメントパネル、ドアライニングなどに  
配した、上質感を醸す木目調パネル。



フロントコンソールなどに、硬質な輝きで本革の  
柔らかさを際立たせるシルバー塗装を。

※一部にプライムスムースを使用しています。詳しくはP67をご確認ください。



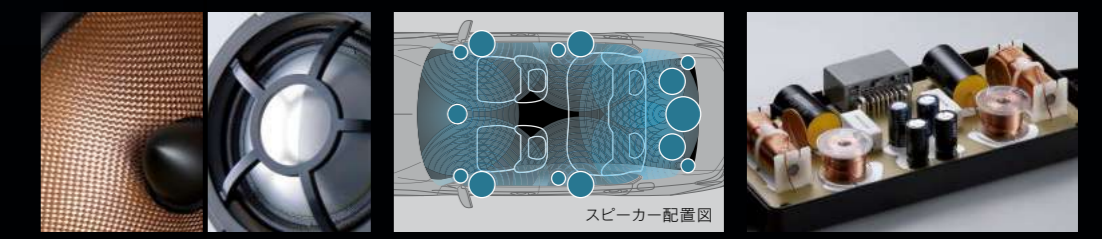
静粛な空間に響く、圧倒的な臨場感サウンド。  
名声高いKrellと共同開発したオーディオシステム。



**KRELL**

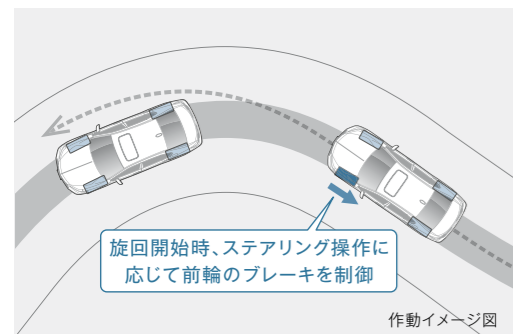
世界屈指のハイエンドオーディオメーカーKrell社と専用に開発した音響システム。  
最上の音響体験で、移動するひとときを心豊かに。レジェンドは骨格剛性の向上、エンジン/モーターの静音化、ロードノイズを抑えるアルミホイールや遮音ガラスなどで静粛性を磨き抜いた上で、世界的に高名な米国Krell社と共同開発したオーディオを搭載しました。各構成要素の高性能化に加えて、音の匠が膨大な手数をかけてチューニング。様々な音楽ソースごと、14ものスピーカーから出る音を12の周波数帯に分け、匠の耳により0.01dB単位の緻密なイコライジングを行い、完成させました。

歪みを抑えた雄大かつクリアな音。演者の息遣いも間近に感じられる臨場感。  
Krell自信のバイポーラ・トランジスターを採用した高性能アンプを採用。6つの中低域用スピーカーには、防弾チョッキにも使われる強靱な合成繊維ザイロン®を用い、その優れた応答性と収斂性で音の明瞭さ、シャープさを追求。軽量マグネシウムコーン採用の6ツィーターは独自の形状で剛性を高め、最高音域まで音のディテールを繊細に再生。これらあらゆる部位で低歪み化と優れた再現性を追求し、弦を擦る音や演者の息遣いなどが眼前で発せられているようリアルティを実現しました。



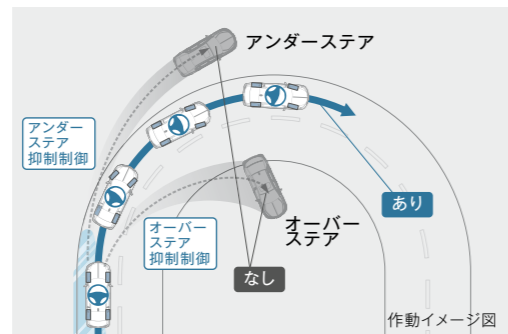
歪みのない忠実な再現性を追求し、素材・形状にこだわりを注いだスピーカー。  
車室特性に応じ、吟味を尽くしたスピーカー配置により、全席で優れた臨場感を実現。  
各スピーカーの能力を十分に引き出す高性能クロスオーバーネットワークも採用。

## Equipment



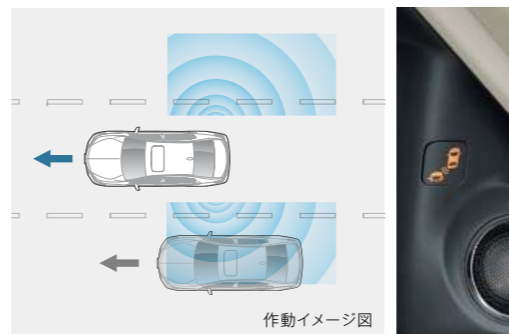
### アジャイルハンドリングアシスト

コーナリング時、ブレーキを緻密に制御し、ステアリングを切り始めた時の回頭性や旋回中のライトレール性を向上させる旋回支援システムです。



### モーションアダプティブEPS

万が一クルマに横滑りが発生した際、切るべき方向にはステアリングを軽くし、逆方向には重くすることで的確なステアリング操作を支援します。



### ブラインドスポットインフォメーション

レーダーが斜め後ろの並走車を検知するとフロントピラー下のインジケータを点灯させてお知らせ。その方向にウインカーを操作すると、インジケータの点滅と音で警告。安心な車線変更や合流を支援します。



### E-プリテンショナー(運転席/助手席)

衝突のおそれがあるとシステムが判断すると、運転席のシートベルトを数回軽く引き込み、体感警告を実行。緊急の際には助手席側も強く引き込み、拘束効果を高めます。



### ジュエルアイLEDヘッドライト

宝石を並べた指輪のような美しさと、ワイドで遠方まで届く配光を実現。路肩や交差点での歩行者、ワインディング路の隅々も見やすく、高速道路などでの安心感も高めます。



### 導光タイプLEDポジションランプ

ヘッドライトの下端から側面にかけて、薄く鋭角的に配置し、上端に配したターンランプとサイドで交差させた独特のデザイン。日中はアクセサリランプとして点灯。



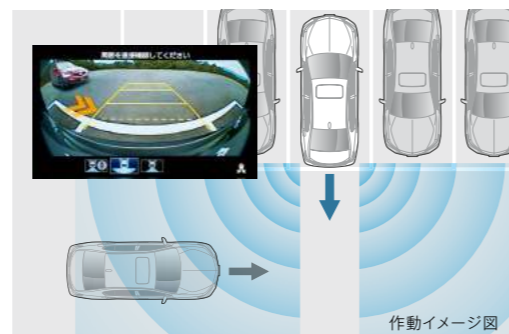
### マルチビューカメラシステム

4つの魚眼カメラで周囲の状況をとらえ、空から見下ろすようなビューなど、多彩なビューをナビ画面に表示。駐車場や見通しの悪い交差点などでの安心感を高めます。



### パーキングセンサーシステム

6つの超音波センサーで周囲の障害物を検知し、対象までの距離によってナビ画面内での表示と警告音を変化させて接近をお知らせ。入庫・出庫時などでの安心感を高めます。



### 後退出庫サポート

バックで出庫する際、側方から近づく車両などをレーダーが検知すると、警告音とアクセルペダルの振動で注意を促し、近づいてくる車両などの向きをナビ画面に表示します。



### 電子制御パーキングブレーキ※1

指先でスイッチを引上げればパーキングブレーキが作動。発進時はアクセルを踏むだけで自動的に解除します。



### オートブレーキホールド機能※2

坂道や渋滞等での停車時、ブレーキペダルから足を離しても停車状態を保ち、アクセルを踏めば自動的に解除します。



### ポップアップフードシステム

歩行者との衝突を感知すると、ボンネットフードの後部を持ち上げ、歩行者の頭部への衝撃を低減します。

■各技術の能力には限界があります。つねに周囲の状況に気をつけ、安全運転をお願いします。ご使用前に、必ず取扱説明書をお読みください。 ■アジャイルハンドリングアシストおよびモーションアダプティブEPSはあくまでもドライバーのステアリング操作を補助するシステムです。したがって、これらが無い車両と同様に、コーナー等の手前では十分な減速が必要であり、ムリな運転までは制御できません。安全運転をお願いします。 ■ブラインドスポットインフォメーションは隣接する車線後方の検知エリア(見えにくい位置)に他の車両がいることを知らせるシステムです。二輪車等が検知範囲に入ったときなど、条件によっては正しく作動しない場合があります。車線変更や合流時には必ず目視やミラーなどで周囲の安全を直接確認して運転してください。 ■マルチビューカメラシステムでは立体物が歪んだり、上部が画面に映らないなど、画面の映像と実際の状況が異なることがあります。また、カメラの映り出し範囲は限られているので、画面だけを見て走行すると接触事故等、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。必ず目視やミラーなどで後方および周囲の安全を直接確認して運転してください。路面が滑りやすくなっているなどの場合は、タイヤのスリップにより、マルチビューカメラシステムの予測ガイド線と車両の実際の動きにずれが生じることがあります。バンパーの両コーナー付近、バンパーの下や黒線上にあるものは映りません。映し出す映像は雨の日、夜間など天候や周囲の状況によって見えにくくなることがあります。 ■パーキングセンサーシステムは、車両や周囲の状況によりシステムが正しく作動しない場合があります。システム使用時も直接目視で周囲の安全確認を行いながら運転してください。 ■後退出庫サポートは出庫時の安全をサポートするためのものであり、衝突を防止するためのシステムではありません。後退時は、必ず目視やミラーなどで後方および周囲の安全を直接確認して運転してください。天候、および積載荷重などの影響を受け、システムが正しく作動しない場合があります。 ■ポップアップフードシステムは速度などの衝突条件により、作動しない場合があります。 ※1: 作動・解除時に後輪付近からモーター音が聞こえますが異常ではありません。また、アクセルペダルによる自動解除は、運転席のシートベルトが着用されている時のみ作動します。 ※2: シートベルトを着用し、パワーシステムを起動してからスイッチを押すと、機能がONになります。

## Honda インターナビ+リンクアップフリー+ETC2.0対応車載器 **ETC2.0**



画面はハメコミ合成

ナビの通信機能により、2003年からHondaが収集・蓄積している、日本全国のHonda インターナビ装着車の通行情報。その膨大な情報量から渋滞を高精度に予測する「インターナビ」に対応。渋滞を極力避ける案内で、運転にゆとりを生みます。通信費無料※1の「リンクアップフリー」にも対応。

## オンデマンド・マルチユース・ディスプレイ



画面はハメコミ合成



高速道路での交通情報などを表示するETC2.0対応車載器も搭載。緊急時、簡単に消防や警察の出動要請ができる「ヘルプネット®」。

【ヘルプネット®について】 ■警察、消防などの関係機関に通報をするサービスであり、直接、救助活動を行うものではありません。 ■お客様の意思に関係なく、エアバッグの展開など、状況に応じてオペレーターの判断で関係機関に通報することがあります。 ■法令で利用者に課せられる通報義務が免除されるものではありません。 ■システムの接続性を含め、確実な通報を保证するものではなく、利用者又は第三者の生命、身体、財産等の安全を保证するものではありません。 ■緊急通報サービスに対応する携帯電話を準備し、事前に接続等の設定をしていただく必要があります。対応できない携帯電話もあります。詳しくはホームページでご確認ください。 ■緊急通報サービス利用時にかかるプロバイダー利用料、データ通信、通話等の通信費はお客様の負担となります。 ■詳しくは利用規約をご確認ください。

■走行中は、一部制限される機能がござります。操作可能な機能も、安全に注意してご使用ください。 ■「ETC2.0対応車載器」は将来実施されるセキュリティ規格の変更に対応しています。 ■インターナビ・プレミアムクラブのサービスのご利用には、Honda販売会社での会員登録が必要です。サービスはクルマに付帯し、入会金、年会費、月々の使用料は不要です。 ■情報を取得できるのは、専用通信機器の利用可能区域です。 ■携帯電話等でハンズフリーテレホンや、データ通信サービスを使用する場合、一部機能をご利用いただけない機種や、対応していない機種があります。対応携帯電話はインターナビ ホームページでご確認ください。 ■走行時は、実際の道路交通規制に従って運転してください。 ■詳しくは販売会社にお問い合わせください。 ※1:通信費が無料になるのは、装備された専用通信機器でのデータ通信のみ対象となります。専用通信機器以外の携帯電話などでのデータ通信やハンズフリーテレホンによる音声通話の料金は無料の対象になりませんので、ご注意ください。本サービスの継続には、車検時にHonda販売会社で更新手続きをしていただくことが条件となります。更新手数料はHonda販売会社で車検を受けていただきますと、無料になります。Honda販売会社以外で車検を受けられた場合は別途更新手数料が掛かります。「リンクアップフリー」はHondaが指定する通信事業者のデータ通信サービスを利用し、Hondaがお客様にインターナビシステムのデータ通信を所定の条件下で提供するものです。したがって、本サービスの提供期間および通信可能エリア等の通信品質についてはHondaはその責任を負うものではないことを予めご了承ください。 ※2:DVDビデオ(DVD-VR対応)、CD(CD-R/RW)(MP3/WMA/AAC対応)再生機能。詳しくは取扱説明書をお読みください。

ナビ/オーディオ/エアコン/電話の操作のための7.0型タッチディスプレイ。目的の操作に必要なボタンのみを大きくシンプルに表示し、直感的な操作をサポート。手応えのある操作感のために、タッチした指先に振動を伝える機能も採用しています。



回す/傾ける/中央を押す。操作性に優れたプログレッシブコマンドでも各種操作が可能。

- ・8.0型ワイドVGAディスプレイ ・HDD(100GB)
  - ・音声認識機能 ・Bluetooth® 対応ハンズフリーテレホン機能
  - ・TV(12セグ/ワンセグ) ・DVD/CDプレーヤー※2
  - ・AM/FMチューナー ・サウンドコンテナ\*
  - ・Bluetooth® オーディオ ・HDMI® 入力端子 など
- \*約3,000曲分(1曲当り4分の場合)を音質に配慮した圧縮率で読み込み可能。



### 運転席&助手席8ウェイパワーシート

スライド/リクライニング/ハイト(前・後)がスイッチ操作で手軽に、無段階で調節できます。運転席は、乗り降りを容易にするために自動でスライドする乗降退避機能付です。



### 助手席シートリモートコントロールスイッチ

助手席のシートサイドにあるスイッチで、運転席や後席から助手席のスライド位置、リクライニング角度の調節が可能。後席の足を広げたい時などに便利です。



### ドライビングポジション・メモリー

運転席とステアリング、ドアミラーについて、運転しやすいポジションを2名分登録でき、スイッチひとつで呼び出せます。



### 4ウェイ電動ランバーサポート

エア式で、前後/上下に調節でき、繊細なフィット感を創出。腰の疲労を軽減できます。



### Hondaスマートキーシステム

キーを携帯していれば、ドアハンドルを握るだけで解錠、ドアハンドルのボタンを押せば施錠。電波検知範囲に入るとドアハンドルのLEDが点灯してお迎える機能付です。

■Hondaスマートキーシステムは、施錠・解錠のときに電波を発信します。その際、植込み型心臓ペースメーカー等の医療用電子機器に影響を与える可能性があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。



### シートヒーター/ベンチレーション機能

寒冷時の快適性を高めるシートヒーターを前席と後席左右に採用。前席には、空気を吸入して体感温度を下げ、夏場の快適性を高めるベンチレーション機能を備えています。

## Equipment



温度設定ゾーンイメージ

**トリプルゾーンコントロール・フルオートエアコンディショナー**  
運転席/助手席/後席それぞれ独立して温度の調節が可能。外の排気ガスを感知すると内気循環に切り替える機能付です。



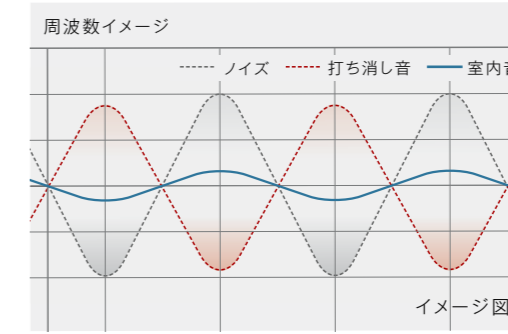
**プラズマクラスター技術搭載エアコンディショナー**  
車内にイオンを放出し、空気の浄化や脱臭などの効果を生む技術をエアコンに搭載しています。  
■シャープ株式会社のプラズマクラスター技術を搭載しています。



**リアドアサンシェード(リアドアクォーターガラス運動式)**  
強い日差しを抑え、後席の快適性を向上。リアドアガラス部を引き上げれば、リアドアクォーターガラス部が運動して送り出され、窓のほぼ全面をカバーします。



**チルトアップ機構付フロント電動スモークドガラス・サンルーフ**  
広い開口部で車内の開放感を一段と高めます。後方が持ち上がり、車内の換気にも便利なチルトアップ機構付です。



**アクティブサウンドコントロール**  
車内のノイズに対して逆位相の音をスピーカーから出力し、ノイズを打ち消す装備。静粛性を高め、くつろぎを深めます。



**遮音機能付ガラス**  
遮音層を挟み込んだガラスをフロントウインドウ/全ドア/リアクォーターに採用。エンジンノイズや風切り音などを抑え、車内の静粛性をより一層高めます。



**リア電動サンシェード(リバース運動式)**  
リアウインドウから差し込む日差しを抑え、快適性を高めます。前席のルーフスイッチ、リアアームレストのスイッチで作動。バック時には自動で下降し、後方視界を確保する機能付です。



**スリーアクセスコンソール**  
左右両側から、あるいは後方スライドの3通りで開閉可能。大容量の収納のほか、アクセサリソケットやUSBジャック、HDMI®端子、AUX端子を備えています。



**超音波センサー付セキュリティーアラーム**  
ルーフのセンサーが不正な乗車を感知すると、セキュリティーアラームが作動。専用のホーンを鳴らし、ハザードランプを点滅させ、防犯性を高めます。



**IRカット(遮熱)/UVカットガラス**  
フロントドアガラスに採用。日焼けなどの原因となる紫外線を約99%カット<sup>※</sup>し、肌にジリジリとした不快な暑さを生む赤外線を低減。夏場の冷房効果も高めます。  
※Honda調べ。ISO9050基準



**19インチ ノイズリデュースングアルミホイール**  
リムの周囲にある中空構造の消音機能により、道路の継ぎ目を越える際などに起こる不快な中周波ロードノイズを低減。静粛性を高めます。



**パワートランク(クローズ)**  
トランクリッド内側のクローズスイッチで自動的に閉じられます。イージークローザー、挟み込み防止機構付。またスマートキー、運転席ドア/トランクリッドのスイッチで自動的に全開するセルフオープン式。トランク容量は414L<sup>※</sup>の大容量です。  
※トランクアンダーボックスを含む。VDA方式によるHonda測定値



Photo: ボディーカラーはマジェスティックブラック・パール インテリアカラーはディープブラウン

Hybrid EX 全国メーカー希望小売価格

7,074,000円

エコカー減税対象車	事故の予防を支援する
取得税 60%減額	重量税 75%減額
Honda SENSING 〈渋滞追従機能付〉	

(消費税抜き 6,550,000円) リサイクル料金13,250円は別途  
写真のマジェスティックブラック・パールは54,000円(消費税抜き50,000円)高となり、表示価格には含まれておりません。

■価格はメーカー希望小売価格(消費税8%込み)で参考価格です。販売価格は販売会社が独自に定めております。■保険料、税金(消費税を除く)、登録などに伴う諸費用は別途必要です。■自動車リサイクル法の施行により、リサイクル料金が別途必要です。■詳しくは販売会社にお問い合わせください。■リサイクル料金は、リサイクル預託金(シュレッダーダスト、エアバッグ類、フロン類のリサイクル等に必要な費用、情報管理料金)及び資金管理料金の合計金額です。■価格には、応急バンク修理キット・標準工具・ジャッキが含まれます。■応急バンク修理キットを装着しておりますので、スペアタイヤは装着しておりません。■オプション価格及び取付費は価格に含まれておりません。■ETC2.0対応車載器を使用するには、別途決済用のETCカード、セットアップ作業(セットアップ費用)が必要となります。■メーター類は撮影のため点灯。■画面はハメコミ合成。

## Body Color

先進のセダンフォルムを、昂ぶりと上質感で彩る8色。



マジェスティックブラック・パール\*1  
高い光輝感が風格と艶やかさを際立たせ、強い存在感を生むブラック。



プレミアムクリスタルレッド・メタリック\*2  
クリアな輝きの中に深みのある、特別なレッド。



プラチナホワイト・パール\*1  
上品な深みと輝きを感じさせるホワイト。



スーパープラチナ・メタリック\*1  
こだわりの質感が陰影を生み、フォルムを美しく魅せるシルバー。



ギルデッドピューター・メタリック\*1  
硬質な貴金属の趣と温かみを表現したベージュメタリック。



プレミアムディプロソッ・パール\*1  
艶やかでありながら品格をたたえた深紅。



モダンスタイル・メタリック  
躍動的なフォルムを引き締め、風格を漂わせるダークカラー。



オブシダンブルー・パール  
黒曜石のような深みと透明感をあわせ持つ、ダークブルー。

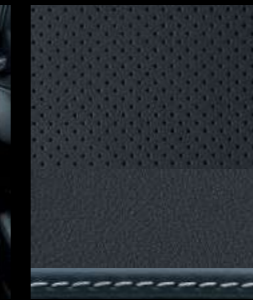
\*1のボディカラーは54,000円(消費税8%抜き 50,000円)高、\*2のボディカラーは75,600円(消費税8%抜き 70,000円)高となります。

## Interior Color

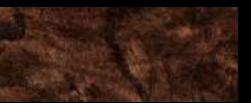
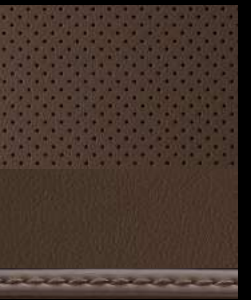
走る喜びと優雅さを高める4色。全ボディカラーとの組み合わせが可能。



プレミアムブラック ルーフ色:ブラック  
スポーティー性と洗練が香るウォームブラック。



ディープブラウン ルーフ色:ブラック  
官能的で深みのあるブラウン。



グレーストーン ルーフ色:グレー  
都会的で知性漂う、モダンなライトグレー。



シーコースト・アイボリー ルーフ色:アイボリー  
開放的で優雅なテイストの明るいアイボリー。



■ボディカラー、インテリアカラーは印刷のため、実際の色と多少異なることがあります。 ■メーター類は撮影のため点灯。 ■画面はハメコミ合成。

## 主要装備

### 安全装備／運転支援機能

- Honda SENSING
  - 衝突軽減ブレーキ(CMBS)
  - 誤発進抑制機能
  - 歩行者事故低減ステアリング
  - 路外逸脱抑制機能
  - 渋滞追従機能付ACC<アダプティブ・クルーズ・コントロール>
  - LKAS<車線維持支援システム>
  - トラフィックジャムアシスト(渋滞運転支援機能)
  - 先行車発進お知らせ機能
  - 標識認識機能
  - オートハイビーム
- E-プリテンショナー(運転席 / 助手席)
- ブラインドスポットインフォメーション
- マルチビューカメラシステム(フロントカメラ/サイドカメラ<左右>/リアカメラ)
- 後退出庫サポート
- パーキングセンサーシステム
- アジャイルハンドリングアシスト

## 快適装備／メーター

- エレクトリックギアセクター
- SPORTモードスイッチ
- ヘッドアップディスプレイ
- マルチインフォメーション・ディスプレイ (Turn by Turn / 平均燃費/瞬間燃費 / 平均車速 / 経過時間 / 外気温 / 推定航続可能距離表示機能 など)
- オンデマンド・マルチユース・ディスプレイ
- Honda インターナビ+リンクアップフリー+ETC2.0対応車載器
- Krell オーディオシステム
- アクティブサウンドコントロール(ノイズキャンセリング機能)
- プログレッシブコマンダー
- リアアームレスト内蔵コントロールパネル(オーディオ、エアコン、サンシェード)
- トリプルゾーンコントロール・フルオートエアコンディショナー(プラズマクラスター技術搭載)

- モーションアダプティブEPS
- VSA (ABS+TCS+横すべり抑制)
- EBD (電子制御制動力配分システム) 付ABS
- ジュエルアイLEDヘッドライト(ハイ/ロービーム、オートレベリング/オートライトコントロール機構付、デフォルトオートスイッチ付)
- 導光タイプLEDポジションランプ<sup>※1</sup>
- LEDフォグライト
- タイヤ空気圧警報システム(各輪圧力表示機能付)
- エマージェンシーストップシグナル
- ヒルスタートアシスト機能
- 車両接近通報装置
- 運転席用 & 助手席用i-SRSエアバッグシステム
- 前席用 i-サイドエアバッグシステム+サイドカーテンエアバッグシステム<前席 / 後席対応>
- 運転席用SRSニーエアバッグシステム
- ポップアップフードシステム

- リアベンチレーション
- リアドアサンシェード(リアドアクォーターガラス運動式)
- リア電動サンシェード(リバース運動式)
- アレレルフリー高性能脱臭フィルター
- チルトアップ機構付フロント電動スモークドガラス・サンルーフ<UVカット機能付プライバシーガラス>
- Hondaスマートキーシステム<sup>※2</sup> (キー2個付)
- スマートウエルカムランプ
- ドライビングポジション・メモリー(シート / ステアリング/ドアミラーポジション)
- 電動テレスコピック & チルトステアリング(オートアウェイ機構付)
- 全ドアワンタッチ式パワーウィンドウ(挟み込み防止機構 / キーオフオペレーション機構付)
- パワードアロック(運転席 / 助手席マスタートアロックスイッチ付)

- フロント3点式ロードリミッター付プリテンショナーELRシートベルト
- リア3点式ロードリミッター付ELRシートベルト(左右席)
- リア3点式ELRシートベルト(中央席)
- 運転席 / 助手席シートベルト締め忘れ警告ブザー & 警告灯(シートベルトリマインダー付)
- 後席シートベルト締め忘れ警告表示(シートベルトリマインダー付)
- フロントアジャスタブル・シートベルトショルダークアンカー
- i-Sizeチャイルドシート対応 ISOFIXロアアンカレッジ(リア左右席)+トッブテザーアンカレッジ(リア左右席)
- 前後調節機構付フロントヘッドレスト
- リアアクティブフォースペダル
- 電子制御パーキングブレーキ
- オートブレーキホールド機能
- イモビライザー(国土交通省認可品)
- 超音波センサー付セキュリティーアラーム(国土交通省認可品)

- 車速連動オートドアロック
- ワンタッチウインカー
- USBジャック(スリーアクセスコンソール内/リアアームレスト内<充電専用>)
- HDMI<sup>®</sup>入力端子(スリーアクセスコンソール内)
- AUX(オーディオ外部入力)端子(スリーアクセスコンソール内)
- アクセサリーソケット(DC12V)(フロント / スリーアクセスコンソール内)
- パワースイッチ
- ヘッドライトオートオフ機能
- ダイレクトフューエルシステム

## インテリア

- レザーインテリア<sup>※3</sup>
  - (本革シート<運転席 & 助手席ベンチレーション機能付>)
- スポーティー プレミアムシート(運転席 / 助手席)
- 運転席 & 助手席8ウェイパワーシート(スライド / リクライニング / ハイト前・後・運転席乗降回避機能付)
- 4ウェイ電動ランバーサポート(運転席 / 助手席)
- シートヒーター (運転席 / 助手席 / リア左右席)
- 助手席シートリモートコントロールスイッチ
- 本革巻ステアリングホイール(スムーズレザー、ステアリングヒーター付)
- スリーアクセスコンソール
- 木目調パネル(インストルメントパネル / センターコンソール / ドアガーニッシュ)
- リアルステッチソフトパッド(インストルメントパネル/ドアライニング)

## エクステリア／ガラス

- 遮音機能付ガラス(フロントウインドウ/全ドア/リアクォーター)
- 高熱線吸収 / UVカット機能付フロントウインドウガラス
- IRカット<遮熱> / UVカットフロントドアガラス
- 高熱線吸収 / UVカット機能付プライバシーガラス(リアドア / リアクォーター / リア)
- ハーフシェード・フロントウインドウ
- 熱線入りフロントウインドウ

## 足まわり／走行関連メカニズム

- 19インチ ノイズリデュースングアルミホイール
- 245 / 40R19 94Yスチールラジアルタイヤ
- 振幅感応型ダンパー

- ステップガーニッシュオーナメントパネル
- 自動防眩ルームミラー
- 運転席用 & 助手席用バニティーミラー付サンバイザー(照明付)
- インナードアハンドルイルミネーション(LED)
- 前席 / 後席フットランプ(LED)
- アンビエントランプ(LED)
- コンソールボックス照明(LED)
- カーテシーランプ(LED、フロント / リア)
- マップランプ(LED、フロント / リア)
- トランクランプ(LED、2灯)
- 電気式ロックリリース グローブボックス(LED照明付)
- フロントドリンクホルダー(透過式メッキイルミネーション付<LED>)

- シャークフィンアンテナ
- リアツインフィニッシャー
- 熱線式リアウインドウデフォッガー
- エンジンアンダーカバー / フロアアンダーカバー
- フロントドア撥水ガラス
- 電動格納式リモコンカラードアミラー(メモリー / ヒーテッド / リバース運動 / 自動防眩機能付、オートリトラミラー)
- LEDドアミラーウインカー
- 車速連動間欠 / バリアブル間欠フロントワイパー(ミスト機構付、雨滴検知式)
- プリントアンテナ

## 足まわり／走行関連メカニズム

- ダブルジョイント式ダブルウイッシュボーン・フロントサスペンション
- マルチリンク・リアサスペンション
- パドルシフト

- センターホルダー(透過式メッキイルミネーション付<LED>)
- ドアポケット(フロント:LED照明付)
- 運転席 & 助手席シートバックポケット
- グラブレール(運転席 / 助手席 / リア左右席) & コートフック(リア左右席)
- パワートランク(クローズ<イージークローザー/挟み込み防止機構付>)
- セルフオープン式トランクリッド
- トランクネット
- トランクアンダーボックス
- コンピニフック(トランク内:2カ所)

<sup>[</sup>\*1：パワーモードがONモード時、ライトスイッチが「AUTO」で周囲が明るい時には「アクセサリランプ」として点灯します。\*2：Hondaスマートキーシステムは、施設・解錠のときなどに電波を発信します。その際、挿込み型心臓ペースメーカー等の医療用電子機器に影響を与える可能性があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。\*3：シート側面、フロントシート背面、リア中央席背もたれ、フロントヘッドレスト側面・背面、リアヘッドレスト、フロントアームレスト、ドアアームレストにプライムスムーズを使用しています。■仕様ならびに装備は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。■このカタログの写真は印刷のため、実際の色と多少異なることがあります。■Honda インターナビ専用通信機器が装着されます。■カラーにより納期が異なります。■詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 主要諸元

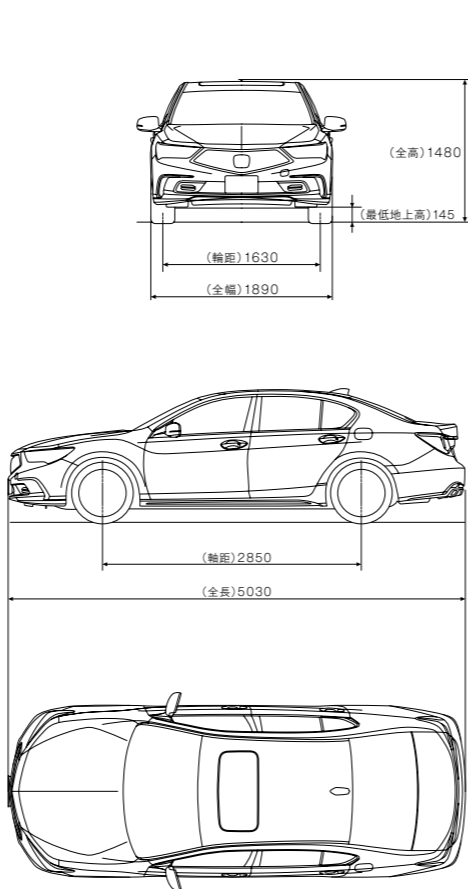
タイプ		Hybrid EX		
駆動方式		4WD (SPORT HYBRID SH-AWD)		
車名・型式	ホンダ-DAA-KC2☆			
トランスミッション	7速オートマチック+パドルシフト			
寸法・重量・乗車定員	全長(m)/全幅(m)/全高(m)	5,030/1,890/1,480		
	ホイールベース(m)	2,850		
	トレッド(m) 前・後	1,630		
	最低地上高(m)	0.145		
	車両重量(kg)	1,990		
	乗車定員(名)	5		
	客室内寸法(m) 長さ/幅/高さ	2,080/1,540/1,155		
原動機	エンジン	原動機型式	JNB-H2-H3-H3	
		エンジン型式	JNB	
		エンジン種類・シリンダー数 及び 配置	水冷V型6気筒横置	
		弁機構	SOHC ベルト駆動 吸気2 排気2	
		総排気量(L)	3,471	
		内径×行程(mm)	89.0×93.0	
		圧縮比	11.5	
		燃料供給装置形式	電子制御燃料噴射式(ホンダPGM-FI)	
		使用燃料種類/燃料タンク容量(L)	無鉛プレミアムガソリン/57	
		電動機(モーター)	電動機型式	H2-H3-H3
		電動機種類	交流同期電動機	
		取付位置及び個数/定格電圧(V)	前1(H2) 後2(H3)/260	
性能	エンジン	最高出力(kW[PS]/rpm)	231[314]/6,500	
		最大トルク(N・m[kgf・m]/rpm)	371[37.8]/4,700	
	電動機(モーター)	最高出力(kW[PS]/rpm)	前(H2) 後(H3)	35[48]/3,000 27[37]/4,000(1基当り)
		最大トルク(N・m[kgf・m]/rpm)	前(H2) 後(H3)	148[15.1]/500-2,000 73[7.4]/0-2,000(1基当り)
		<b>JCO8</b> 走行燃料消費率[国土交通省審査値](km/L)	16.4	
		主要燃費向上対策	ハイブリッドシステム、直噴エンジン、可変バルブタイミング、可変シリンダーシステム、アイドリングストップ装置、電動パワーステアリング	
		最小回転半径(m)	6.0	
	動力用主電池	種類/個数	リチウムイオン電池/72	
	動力伝達・走行装置	変速比 1速/2速/3速/4速/5速/6速/7速/後退	4.395/2.752/2.034/1.546/1.142/0.842/0.622/3.663	
		減速比	前3.578 後10.382	
	ステアリング装置形式	ラック・ピニオン式(電動パワーステアリング仕様)		
	タイヤ 前・後	245/40R19 94Y		
	主ブレーキの種類・形式 前/後	油圧式ベンチレーテッドディスク/油圧式ディスク		
	サスペンション方式 前/後	ダブルウィッシュボーン式/ウィッシュボーン式		
	スタビライザー形式 前・後	トーション・バー式		

■燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。 ☆印の車両は、自動車取得税、自動車重量税、自動車税の軽減措置が受けられます。(取得税は2019年3月31日まで、重量税は2019年4月30日までの新車登録が対象。自動車税は2019年3月31日までの新車登録が対象となり、新車登録の翌年度に軽減措置が受けられます。)詳しくは販売会社へお問い合わせください。 ■主要諸元は道路運送車両法による型式指定申請書数値。 ■LEGEND、アレルフリー、Honda SENSING、INTER NAVI SYSTEM、LKAS、PGM-FI、SH-AWD、VSA、VTECは本田技研工業株式会社の商標です。 ■Bluetooth®は米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。 ■HDMI®、HDMI®ロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国々におけるHDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。 ■アイロン®は東洋紡株式会社の登録商標です。 ■HDMI®は東洋紡株式会社の登録商標です。 ■プラスマクラスターマークおよびプラスマクラスター、Plasmaclusterは、シャープ株式会社の商標です。 ■ヘルプネット®は株式会社日本緊急通報サービスの登録商標です。 ■製造事業者:本田技研工業株式会社

## 環境仕様

基礎情報	車両型式	DAA-KC2	環境性能情報	適合騒音規制レベル	平成10年騒音規制 規制値:加速走行76dB(A)
	原動機	型式 JNB-H2-H3-H3		エアコン冷媒	種類/GWP値*2 HFC-134a/1430 <sup>3</sup>
駆動装置	総排気量(L)	3,471	使用量	460g	
	駆動方式	4WD	車室内VOC	自工会目標達成(厚生労働省室内濃度指針値以下)	
燃料消費率	駆動方式	4WD	環境負荷物質削減	鉛 自工会2006年目標達成(1996年使用量**の1/10)	
	変速機	7速デュアルクラッチトランスミッション	水銀	自工会目標達成(2005年1月以降使用禁止**)	
	<b>JCO8</b> 燃費(km/L)*1	16.4	六価クロム	自工会目標達成(2008年1月以降使用禁止)	
環境性能情報	CO <sub>2</sub> 排出量(g/km) (燃費からの換算値)	141.6	カドミウム	自工会目標達成(2007年1月以降使用禁止)	
	参考	平成32年度燃費基準+20%達成車	リサイクル	樹脂、ゴム部品への材料表示 樹脂、ゴム部品に可能な限り全て	
	排出ガス	適合規制・認定レベル 平成17年排出ガス基準75%低減	リサイクルし易い材料*6を 使用した部品	アンダーコート、ウインドウモール類、 バンパーフェースなどの内外装部品	
	JCO8H+JCO8C モード認定基準値 (単位:g/km)	CO 1.15 NMHC 0.013 NOx 0.013	再生材を使用している部品	エアコンダクト、吸音材	
	参考	九都県市指定低公害車の基準に適合	リサイクル可能率	車全体で90%以上*7	
			その他	グリーン購入法適合状況 グリーン購入法適合車	

## 寸法イメージ図



\*1 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。\*2 GWP:Global Warming Potential(地球温暖化係数) \*3 フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求められています。\*4 1996年乗用車の業界平均使用量は1850g(バッテリーを除く)。\*5 交通安全上必須な部品の極微量使用を除く。\*6 ホリプロビレン、ポリエチレンなどの熱可塑性プラスチック。\*7「新型車のリサイクル可能率の定義と算出方法のガイドライン(1998年 自工会)」に基づき算出。 ※この環境仕様書は2018年2月現在のものです。

## 「自由な移動の喜び」と「豊かで持続可能な社会」の実現

次世代のために、今できること。これからすべきこと。Hondaは常に考え、積極的に行動していきます。

製品のライフサイクルの各段階で資源使用と環境負荷の最少化をめざすとともに、製品によって、モビリティと暮らし全体で排出する温室効果ガスのゼロ化をめざします。

**Safety for Everyone**

すべての人の安全をめざして

すべての人が、心から安心して、どこへ自由に移動することができる。そんな喜びのある社会をつくりたい。その思いで、Hondaは力を尽くしていきます。

Together for Tomorrow

夢のある明日の社会づくりをめざして

地域に根づいた企業として、社会や人々とともに心豊かで活力ある明日をめざす社会活動を、グループ全体ですすめています。

## 快適なカーライフを過ごしていただくために

**新車登録日から3年間、安心のメーカー保証。**

保証期間は、新車登録日から3年間\*1。また、Hondaが特に指定した部品は5年間\*2となります。保証内容は保証書、または販売会社にてご確認ください。  
\*1 期間内でも走行60,000kmまで \*2 期間内でも走行100,000kmまで

**Honda Total Care**

「緊急サポートセンター」と「会員サイト」でまとめてサポートする会員サービス「Honda Total Care」。事故や故障などのトラブルから点検・車検予約、クルマに関する急な困りごとまで。すべてHondaにおまかせください。

**Honda C-card**  入会受付中

Honda販売会社での新車購入/車検や、日々のカードのご利用でポイントが貯まるHonda Cカード。貯まったポイントは現金や楽天Edyでキャッシュバック。詳しくはCカードホームページへ。http://www.honda.co.jp/C-CARD/

**Honda Cars よりお届けします。** 本田技研工業株式会社 〒107-8556 東京都港区南青山2丁目1番1号

2018.02 このカタログの内容は 2018年2月現在のものです。 レジランド カタログ B411LG182000 1801 ㊦

お問い合わせ、ご相談はお近くの販売会社、または下記のフリーダイヤルまで。

●車両について Honda お客様相談センター 全国共通フリーダイヤル ☎ 0120-112010(受付時間:9時~12時 13時~17時)

●純正用品(ディーラーオプション)について ホンダアクセス お客様相談室 全国共通フリーダイヤル ☎ 0120-663521(受付時間:9時~12時 13時~17時 但し、土日・祝日・ホンダアクセス指定休日は除く)

